

韓国国立昌原文化財研究所『韓国の古代木簡』
の刊行

二〇〇三年度までに朝鮮半島で出土した木簡全点（二三遺跡から三二一地点）を収録した『韓国の古代木簡』が韓国国立昌原文化財研究所から刊行の運びとなつた。

本書は、咸安城山山城出土木簡の判読を契機として発刊にいたつたもので、同研究所が各機関を直接訪問して実施した調査に基づき、全点のカラー写真と赤外線写真を出土遺跡のデータとともに掲載する。図版・論考・付録の三部からなり、論考として、韓国の古代木簡を概観する一本、咸安城山山城出土木簡に関する四本、日本・中国の木簡に関わる各一本を収録する。

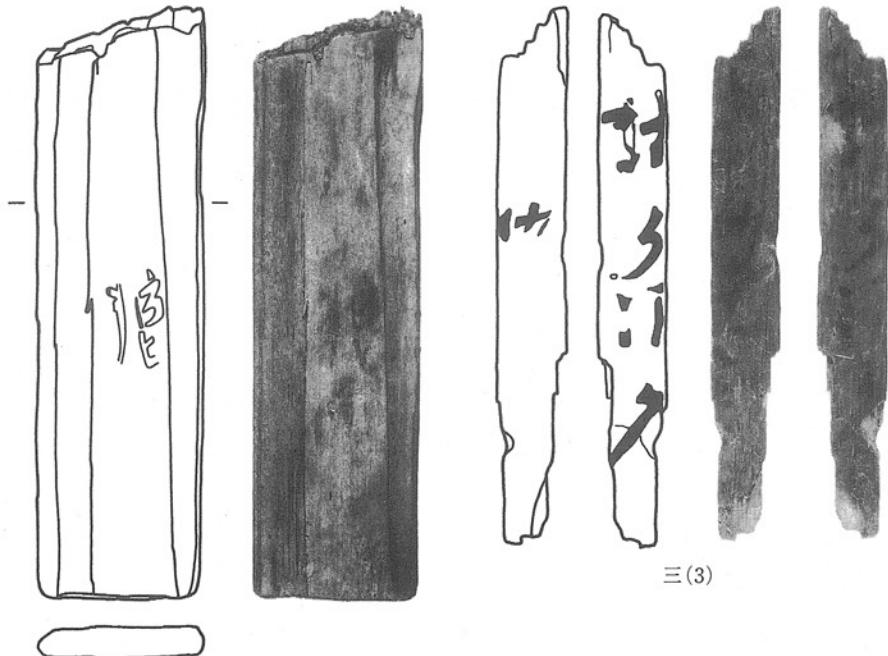
これまで部分的な紹介にとどまつていた韓国の古代木簡について、全体的かつ豊富な情報が提供されることになつた画期的な一冊である。

タブロイド判四五一頁 図版三五四葉 二〇〇四年七月発行

発売元 六一書房
領価 一二六二五〇円（税込・送料別）

〒一〇一—〇〇六四 東京都千代田区猿楽町一—七一
高橋ビル一階

TEL ○三一五二八一六一
FAX ○三一五二八一六一六〇



三(3)

第10号木簡